

# 患者の皆様へ

2018年8月1日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「切除可能悪性胸膜中皮腫に対し、胸膜切除／肺剥皮術を企図して完全切除を行う集学的治療に関する遂行可能性確認試験(feasibility study)」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2013年に本試験に登録した患者さんを対象に、追加の診療情報を収集します。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

**1. 研究課題名** 切除可能悪性胸膜中皮腫に対し、胸膜切除／肺剥皮術を企図して完全切除を行う集学的治療に関する遂行可能性確認試験(feasibility study)

**2. 研究の意義・目的** 切除可能な悪性胸膜中皮腫に対してペメトレキセド・シスプラチンの化学療法後に胸膜切除／肺剥皮術を企図して肉眼的完全切除を行う集学的治療法の遂行可能性について検討します。

**3. 研究の方法** 以前に上記試験の登録をされている患者さんに関して、今回の実施計画変更にあわせて診療録をもとに無再発生存期間、病理病期、再発様式といった追加情報を収集します。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 呼吸器外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院呼吸器外科

医師 坂入 祐一

043 (222) 7171 内線 5464